

千葉県住生活基本計画の「3つの視点」「分野別目標」「施策の方向性」と、「住生活基本計画（全国計画）」、県第1次・第2次計画との関係

住生活基本計画（全国計画）

平成28年度～37年度

- 目標1
結婚・出産を希望する若年世帯・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現
- 目標2
高齢者が自立して暮らすことができる住生活の実現
- 目標3
住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

- 目標4
住宅すごろくを超える新たな住宅循環システムの構築
- 目標5
建替えやリフォームによる安全で質の高い住宅ストックへの更新
- 目標6
急増する空家の活用・除却の推進

- 目標7
強い経済の実現に貢献する住生活産業の成長

- 目標8
住宅地の魅力の維持・向上

第3次千葉県住生活基本計画（案）

平成28年度～37年度

代表的な「施策の方向性」

- 居住者からの視点**
- 目標1
若年・子育て世帯、高齢者等が安心して暮らせる豊かな地域社会の実現
 - 目標2
住宅セーフティネットの確保
- ・若年・子育て世帯、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり
 - ・住宅地等におけるエリアマネジメントの推進
 - ・住宅確保要配慮者に対する適切な住宅の確保
 - ・災害発生時の被災者に対する住宅の確保

- 視点 住宅ストックからの**
- 目標3
次世代にも承継される良質な住宅の形成と空き家の利活用等の推進
 - 目標4
多様な居住ニーズに応じた住宅市場の環境整備
- ・良質な住宅の供給促進と住宅性能の確保
 - ・適切な維持管理とリフォームによる質の向上
 - ・空き家の利活用と適切な管理の推進
 - ・既存住宅の流通・活用の促進
 - ・賃貸住宅市場の環境整備
 - ・住生活産業の活性化と担い手の育成

- 居住環境からの視点**
- 目標5
良好な居住環境の形成
- ・安全・安心な居住環境の形成
 - ・個性ある美しい住宅市街地の形成

県第2次計画

平成23～32年度

- 目標1
豊かな地域社会の実現
- 目標2
良質な住宅ストックの形成
- 目標3
良好な居住環境の形成
- 目標4
住宅市場の環境整備
- 目標5
住宅セーフティネットの確保
- 目標6
地域特性に応じた施策の展開

県第1次計画

平成18～27年度

- 目標1
住生活を支える豊かな地域社会の実現
- 目標2
良質な住宅ストックの形成
- 目標3
良好な居住環境の形成
- 目標4
住宅市場の環境整備
- 目標5
住宅セーフティネットの確保
- 目標6
地域特性に応じた施策の展開

効果的な施策の展開

各目標に応じた施策を展開する際には、

- ・地域の課題を明らかにし、地域特性や資源を踏まえた取り組み
- ・多様な主体の参画を促し、関連分野との連携や協働による取り組みを推進するため、地域別の方向性を勘案して取り組むこととする。

勘案

地域別の方向性

東葛湾岸ゾーン（東葛、葛南、千葉）

- ・地理的優位性を活かし、若年・子育て世帯が暮らしやすい魅力的な街づくりの推進
- ・大規模団地や分譲マンション、高齢者への対応の強化 など

空港ゾーン（印旛）

- ・東京通勤圏・空港隣接の優位性を活かした住まい需要への対応、ニュータウン等の地域活力の維持向上
- ・文化遺産や環境資源を活かしたまちづくり、景観づくり など

香取・東総ゾーン（東総）

- ・自然景観や歴史・文化などの地域資源を活用した個性的なまちづくりの推進
- ・高齢者が住み慣れた地域に住み続けるための、医療・福祉と連携した住環境整備の推進 など

圏央道ゾーン（内房～九十九里）

- ・アクアラインや圏央道による通勤・通学圏の優位性を活かしたまちづくりの推進
- ・多彩な自然環境やレジャー等の魅力を活かした田園居住・二地域居住等の推進 など

南房総ゾーン

- ・先進医療施設の立地や温暖な気候を活かした高齢者が暮らしやすいまちづくりの推進
- ・多様なライフスタイルの提案 など